



能面 父尉  
室町時代 15~16世紀  
金沢市指定文化財  
金沢能楽美術館蔵

企画展

# Kanazawa Noh Museum COLLECTION 2021

2021年  
2月13日(土)~8月29日(日)

前期2月13日(土)~5月23日(日) 後期6月5日(土)~8月29日(日)

【開館時間】午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(休日の場合はその次の平日)

※展示替え及び燻蒸作業のため休館:5月25日(火)~6月4日(金)

【料金】一般・大学生310円 65歳以上210円

高校生以下無料 団体(20名様以上260円)

【アクセス】金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルより乗車、「広坂・21世紀美術館」または「香林坊(アトリオ前)」下車。

◆主催/金沢能楽美術館((公財)金沢芸術創造財団)

◆後援/北國新聞社・NHK金沢放送局・MRO 北陸放送・テレビ金沢・金沢ケーブル・エフエム石川・ラジオかなざわ・ラジオこまつ・ラジオななお

Kanazawa Noh Museum  
金沢能楽美術館

<https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp>

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25 TEL.076-220-2790/FAX.076-220-2791



# Kanazawa Noh Museum COLLECTION 2021

江戸時代、加賀百万石の大名前田家のもと高度な武家文化が花開いた金沢。なかでも能楽は茶とともに武士の嗜みとして手厚く保護育成され、のちに「加賀宝生」と称されるほど広く浸透しました。明治維新による幕藩体制の終焉は一時の衰退をもたらしましたが、加賀宝生中興の祖・佐野吉之助をはじめとする能楽愛好者らの尽力により、「謡が降る街、金沢」の伝統が受け継がれました。当館は加賀宝生に伝わった能道具をコレクションの母体とし、以来、能楽に関する貴重な資料の収集・保存・展示を重ねています。

役柄のエッセンスを凝縮させた究極の造形美を示す能面をはじめ、染織技術の粋を極めた絢爛豪華な能装束など、日本が誇る能楽文化の美意識を感じていただければ幸いです。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、能面・能装束の着装体験及び能の楽器体験は中止しております。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
※今後のギャラリートーク等の開催日程は、HPにてご確認ください。



能装束  
淡萌葱地枝垂桜胡蝶楓文長絹  
江戸～明治時代 19世紀  
金沢市指定文化財 金沢能楽美術館蔵

## しょうたい 写謡の会 要予約

静かな時の中、美しい能の謡を書き写し、心身を浄化させてみませんか。  
当日午後に催される定例能（於石川県立能楽堂）について、能楽師による解説の後、謡本の流麗な文字をなぞります。

日 程	曲 目(予定)	講 師(宝生流シテ方)
3月7日(日)	嵐山・東岸居士	藪 克徳
4月4日(日)	景清・杜若・船弁慶	佐野 玄宜
5月2日(日)	東北・船橋	高橋 憲正
6月6日(日)	兼平・百万	渡邊 茂人
7月4日(日)	呉服・芦刈	藪 克徳
9月5日(日)	龍田・花筐	高橋 憲正
10月3日(日)	枕慈童・阿漕	渡邊 茂人
11月7日(日)	松尾・井筒	藪 克徳
12月5日(日)	放下僧・項羽	佐野 玄宜

〈時 間〉10:15～ 約1時間 〈持ち物〉筆ペン（または筆・墨・すずり）  
〈参加料〉1回500円＋観覧料

## Kanazawa Noh Museum 金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25  
TEL.076-220-2790/FAX.076-220-2791

<https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp>

金沢能楽美術館

検索

アクセス 金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルより乗車、「広坂・21世紀美術館」または「香林坊（アトリオ前）」下車。



能面 小面  
江戸時代 17世紀  
金沢市指定文化財  
金沢能楽美術館蔵



能装束  
紅浅葱茶萌葱段雷菱牡丹唐草文厚板 江戸時代 17～18世紀  
金沢市指定文化財 金沢能楽美術館蔵

